

# 新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会  
会長  
佐久間 裕之

会員並びに関係者の皆様におかれましては、お健やかに平成27年の新春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申しあげます。

さて、わが国経済は、アベノミクスによる「三本の矢」といわれる政策パッケージ、すなわち金融政策・財政出動・成長戦略が講じられ景気回復がうかがえたものの、中小企業においては輸入原材料の高騰、電力料金の値上げ等による負担増、昨年4月からの消費税増税による消費マインドの減退等の影響で、本年も厳しい状況が続くことが予想されます。

三重県では昨年4月に全国初の条例である「三重県中小企業・小規模企業振興条例」が制定され、条例に基づく様々な施策が展開されるなど、明るい兆しも現れてきております。また、国においても昨年6月に「小規模企業振興基本法」が施行されるなど、中小企業・小規模企業の事業の持続的な発展を図ることが位置づけられました。

しかしながら私ども中小企業が、経済環境の変化に即応し発展していくためには、個々の事業者の自助努力による経営革新を図ることが必要ですが、そこには自ずと限界があります。

三重県中央会は、本年で創立60周年を迎えます。本年が自律的な景気回復が着実なものとなることを期待しながら、「中小企業連携で“みえの元気”を育てます」の理念のもと、これまで培ってきた中小企業連携組織の専門支援機関としての組織ネットワーク力を活かし、直面する課題の克服と競争力強化、経営基盤の底上げ、安定化を促進していくために、組合等を通じた中小企業・小規模企業振興に真摯かつ迅速に対応し、三重県経済の活性化に全力で取り組んでまいりますので、会員並びに関係機関等の皆様方におかれましては、本会の事業運営に対し一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

最後になりましたが、本年が、皆様方にとって希望に満ちあふれた素晴らしい飛躍の1年となりますとともに、皆様方のご繁栄とご健勝を心より祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。



三重県知事  
鈴木 英敬

平成27年の年頭にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

三重県中小企業団体中央会ならびに各中小企業組合におかれましては、日頃から中小企業の連携と組織化への取組を通じて、本県産業の振興に多大なご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、本県では、昨年4月に制定しました「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づき、地域社会の維持・形成に重要な役割を担っている中小企業・小規模企業に対して、関係機関と連携・協力しながら地域経済の実情に応じたきめ細かい数々の企業支援を行っております。

引き続き、中小企業・小規模企業支援による県産業の振興に取り組み、国が行う小規模企業振興基本法に基づく、「地域を支え、しなやかで強い小規模企業へ光をあたえる政策」などとも連携を図りながら、経済の持続的な発展及び県民生活の向上につなげてまいりたいと考えております。

また、オープンから1年が経過した「三重テラス」では、10月末現在でオープンからの総来館者数が62万人を超え、順調に来館者数を伸ばしております。

今後も、3年目の集大成を迎える「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」と合わせて、三重の旬の情報を発信するとともに、県内企業・事業者のチャレンジ支援、ネットワークの拡大と連携等の取組により、三重県の認知度向上やブランド力アップ、県産品の販路拡大等につなげてまいります。

さらに、平成26年度の三重県の障害者雇用率につきましては、実雇用率1.79%と目標を上回ることができました。皆様のご努力に厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、障がい者雇用を推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に、三重県中小企業団体中央会ならびに各中小企業組合におかれましては、引き続き、中小企業相互の連携強化を図り、地域経済を牽引していただきますようお願いいたしますとともに、本年が三重県中小企業団体中央会のさらなる飛躍の年となり、会員の皆様方にとって幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。